

校長室だより

令和7年 5月16日(金)
第7号
十日町市立中条中学校校長室

全国学力・学習状況調査(その1 国語)

4月17日(木)に3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。

今年度は、例年の国語、数学、生徒質問紙のほかに、理科を実施する年度です。また、理科は初めて Web 上での回答でした。各教科の問題をピックアップして、学校や家庭で、生徒に身に付けさせるべき資質・能力について考えてみます。具体的な問題や解答等は国立教育政策研究所のホームページで検索できます。興味のある方は是非ご覧ください。

国立教育政策研究所ホームページ URL <https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

国語の問題から

国語は大問が4問出題されています。それぞれの大問に2~4の問題があり、トータル14問の構成でした。14問のうち、「知識・技能」を問う問題がわずか2問、残りは「思考・判断・表現」を見る問題です。

また、今回は大問①と②がすべて横書きになっています。①は Web 上の問題、②はプレゼンの問題です。これからの情報化社会を生き抜くために、生徒に身に付けてほしい国語力の一つといえます。

知識・技能を問う問題

- ① 一 「どれもかいしんの出来です。」下線部の漢字を選ぶ。「会心」が正解
- ③ 三 「気長な兄は、しきりと木の下を探し回りましたが」下線部の意味として適切なものを選ぶ。 1 寂しげ 2 改めて 3 何度も 4 注意ぶかく 3が正解

大問①の問題を見てみます。

第一中学校では毎年美術展を行っています。ウェブ上には、行事の案内が掲載されています。(右側)

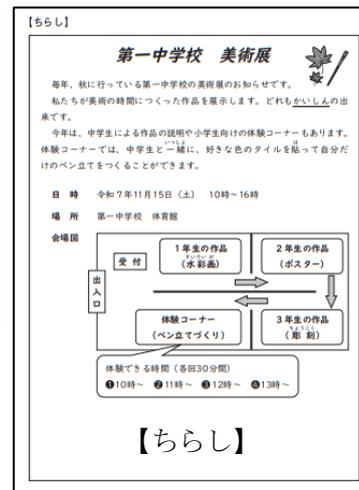
「実行委員の中井さんは来場を促すため、ウェブ上のお知らせを参考に、ちらしを作成します。中井さんはちらしの中に、ウェブ上にはない「会場図」を付け加えます。」

設問二は、付け加えた会場図の目的を問う問題です。大切なことは会場図を図示したことが、選択肢のどの内容に当たるかを読み取ることです。答えは選択肢4の「展示する内容と体験コーナーの内容と配置を伝えるため」です。図を活用する効果に気が付けるかが大切な要素です。

設問三は、ちらし(裏面)のリード文の見え消しの部分を削除し、その部分を吹き出しにして付け加えた意図を答える問題です。吹き出しでは、体験コーナーの図から吹き出しが出て、



【ウェブ上のお知らせ】



【ちらし】

【ちらし】(更新版①)

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもがいしんの出来です。

今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。体験コーナーでは、中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

日時 令和7年11月15日(土) 10時～16時
場所 第一中学校 体育館
会場図

体験できる時間(各回30分間)
①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～
中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらおう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのかわりたくまりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

そのコーナーの時間を見やすく整理しています。レイアウトや書き方の工夫による効果を発見することが大切だと言えます。読み手や相手の立場に立っていかに分かりやすくするか、どのような方法がよく伝わるかという相手目線の考え方が必要です。

設問三では、小学生にメッセージを書きます。問題文は以下の通りです。

「今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを『第一小学校の6年生へ』というメッセージにして書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の2つの条件にしたがって書きなさい。」

- 条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つを選び、それと結び付く小学生の【感想の一部】をアからウまでの中から1つ選ぶこと。
- 条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

この作文を書くためのポイントは、問題文の下線部を踏まえて、選んだ工夫と感想から引用したり、自分の言葉に直したりしながら、文章にまとめられるかです。

私がパッと見て書きやすそうだと思ったのは、Bの「体験コーナー」とウの「私もつくってみたい」との関連です。しかし、この2つを関連させて自分の言葉でまとめることは決して簡単なことではありません。

①以外も、②では、プレゼンで自分の思いを伝える問題や、④では、職場体験でお世話になった生花店の店長さんへのお礼の手紙を推敲する問題が出題されています。①の設問三と同様に、答えは一つではありません。自分で考えてまとめていく力が必要です。

国語の時間でも、身に付けた「知識・技能」を生かして、「思考力・判断力・表現力」を育成することが求められています。今回の問題では、特に相手を意識した表現力が求められているように思います。常に相手の立場に立って分かりやすく伝える、相手の主張を聞いて理解し、自分の考えと比べてより素晴らしいもの練り上げるなどの対話的な学びの繰り返しが重要です。学校での受け身型の授業だけではその力は付きません。話し合い、意見の出し合い等言語活動の充実を推進しなければいけないと感じます。

また、家族内の日常の会話で、お互いの思いを確実に伝える、聞いて確実に理解するなどの言語活動の繰り返しが求められているように思うのです。そうすると学校や家庭、地域でのコミュニケーションがとても大切だと思います。是非ご家庭でも日常のやりとりを見直してみませんか。親の思いがしっかり伝わっているかを少し意識するだけで十分だと思います。その意識が生徒の学力を高めるようになると思うのです。